

インターネットを活用した里山活動フィールドの情報収集について

環境省自然環境局自然環境計画課

環境省自然環境局では、全国の里山での自然保護・ふれあいの活動の実態を把握するため、アンケートにより活動を実施している団体及びそのフィールドについて事例収集を行ったところであるが、より多くの事例を網羅的に収集するため、平成13年5月1日から、インターネットを通じて、活動団体及びフィールドに関する情報を受け付けている。

- 1 平成12年末に閣議決定された、新しい環境基本計画においては、里山など二次的自然環境の保全について、「里山をはじめとする二次的自然環境については、多様な生物の生息・生育空間、自然とのふれあいの場、都市域の緑地などとして様々な機能をもっていることから、稀薄化した人と自然との関係の再構築という観点に立った保全の取組を推進する」ことが記述されている。
全国各地の里山では、現に、様々なかたちで自然保護・ふれあい活動がなされており、この実態を踏まえた取組が必要となっている。
- 2 環境省自然環境局では、平成11年度から(財)日本自然保護協会に委託して全国の里山におけるふれあい活動の事例収集を行ってきたところであり、その中で全国各地の多くの活動団体及びそのフィールドがリストアップされている。現段階のリスト(約800件)は、環境省HPで公開している。
(<http://www.env.go.jp/nature/index.html>)
- 3 上記リストは、あくまでも暫定的なものであり必ずしも全国の里山における活動団体や活動フィールドを網羅しているとは言えないことから、インターネットを通じて上記リスト以外の活動団体及びフィールドの情報を広く収集することとした。
新しい活動団体、活動フィールドに関する情報提供(登録)は、上記サイトから入力できるようになっており、概ね、5月末までの情報提供をお願いしている。
- 4 環境省としては、最終的な全国の里山の活動団体及びフィールドに関するリスト等を、里山の保全に関する基礎資料、生物多様性国家戦略見直しのための基礎資料として活用する予定。